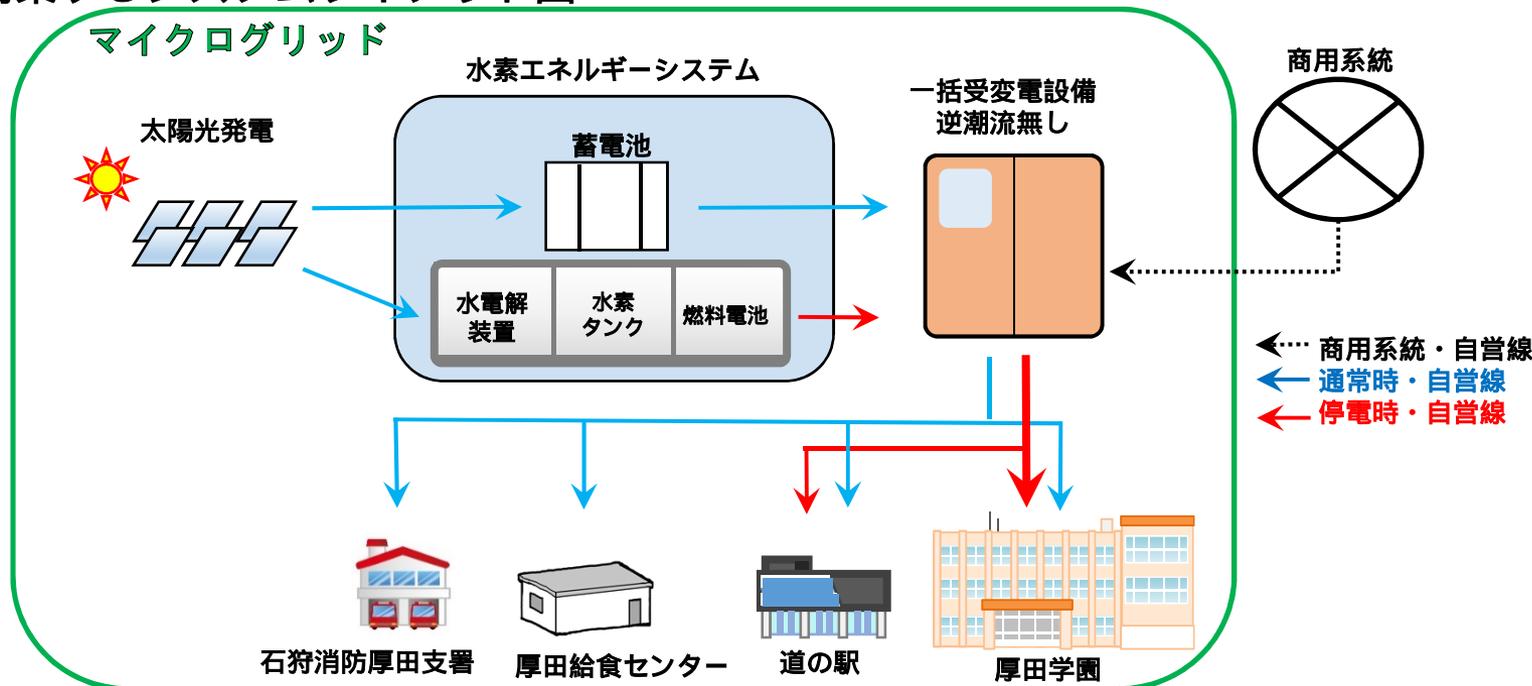


エネルギー地産地消事業化モデル支援事業「小規模集落における独立グリッド整備とブロックチェーン技術活用による新たなエネルギー自給・地域循環モデル形成事業」

【事業の目的】

石狩市厚田地区をモデル地域とし、小規模な集落における限定的な配電網（マイクログリッド）の形成を通じた地産地消の新たな電力供給モデルを構築することによって、災害に強い地域づくりに寄与することを目的とする。

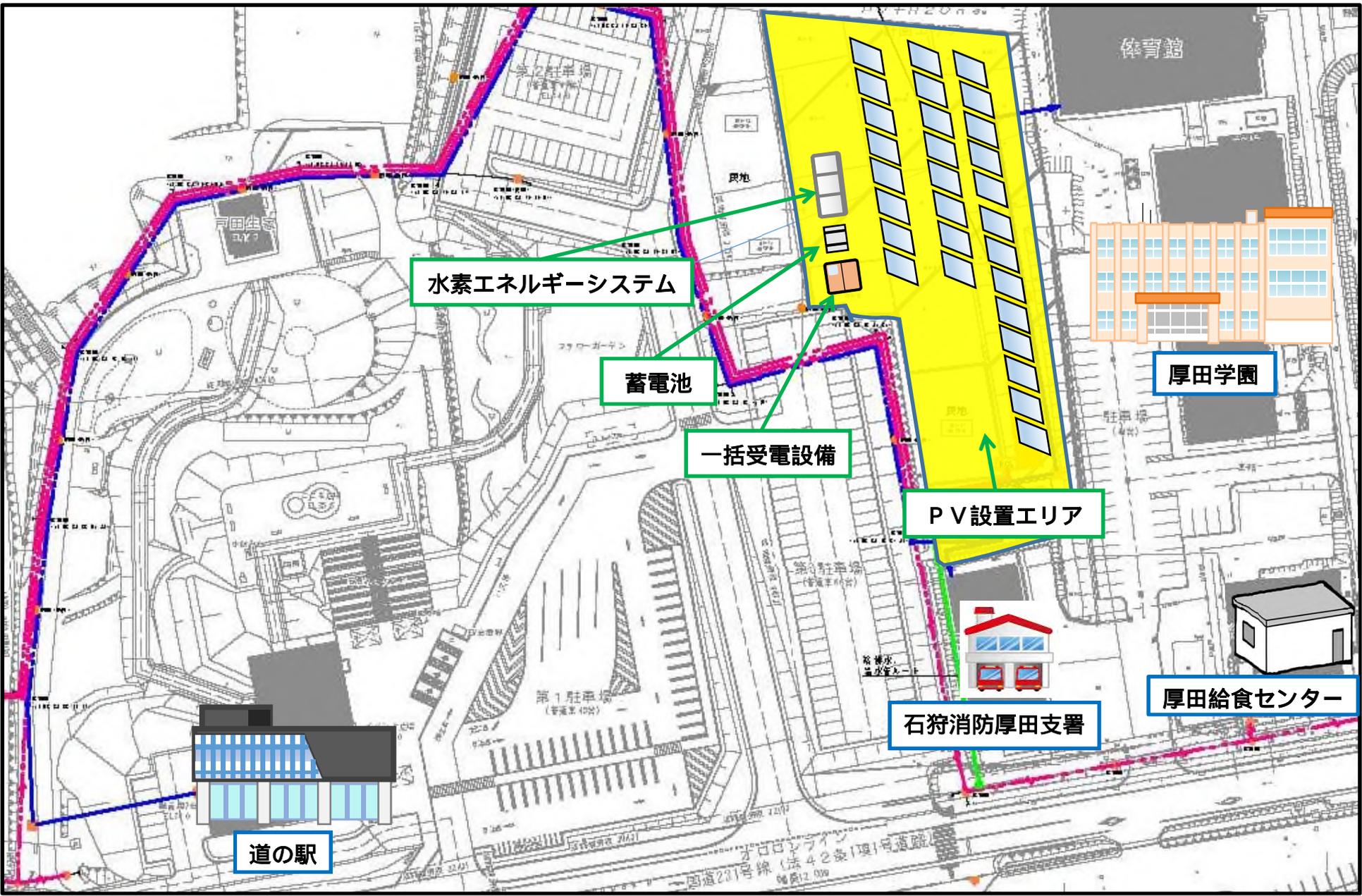
本事業にて構築するシステムレイアウト図



【システム稼働シナリオ】

- ・通常時は太陽光発電設備（以下、P V）より発電された電力及び商用系統電力を供給。また、P Vにより発電された電力の一部を水素として貯蔵。
- ・停電時には、水素エネルギーシステム内の水素燃料電池より電力を供給。（日照時は通常時と同様にP Vより発電された電力も供給する予定。）

システム配置(案)



今後のスケジュールについて（予定）

【2020年】

- 11月～ 太陽光発電設備、水素エネルギーシステム設置場所の造成・基礎工事開始
積雪後は施工中断

【2021年】

- 5月頃～ 造成・基礎工事再開
- 8月頃～ 太陽光発電設備、水素エネルギーシステムの設置開始
各施設への配線工事
- 10月頃～ 電気供給事業者の公募実施（11月頃事業者決定）
- 11月頃 設備導入完了、試運転調整実施

【2022年】

- 3月頃 各施設への電力供給開始

上記スケジュールの外、検討会を行い、地域の皆様や関係者、有識者のご意見を賜り、本事業が地域にとって、より良いものとなるよう事業を進めてまいります。